



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 兼松日産農林株式会社
 コード番号 7961 URL <http://www.knn.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高崎 實
 (氏名) 田中 昭浩

TEL 03-3265-8231

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,870	0.7	163	△16.9	172	△15.9	96	△52.2
26年3月期第1四半期	2,850	13.9	197	112.3	205	121.3	201	74.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 119百万円 (△26.1%) 26年3月期第1四半期 161百万円 (144.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.33	—
26年3月期第1四半期	4.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	7,731	5,065	65.5	122.19
26年3月期	7,839	4,946	63.1	119.31

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,065百万円 26年3月期 4,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△5.8	250	△28.1	250	△29.9	150	△54.7	3.62
通期	12,000	△3.2	600	△23.1	600	△25.4	400	△60.0	9.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	41,492,000 株	26年3月期	41,492,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	33,398 株	26年3月期	32,183 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	41,458,602 株	26年3月期1Q	41,460,428 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済・金融政策の効果等による堅調な企業業績を背景に緩やかな回復基調が見られた一方で、消費増税前の駆け込み需要の反動減等により景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界につきましては、相続税対策による賃貸住宅の需要や都市部分譲マンションへの依然高い購入意欲など、底堅さはあるものの駆け込み需要の反動が顕在化し、新設住宅着工戸数は減少傾向に転じました。

このような環境のもとで当社グループは、各事業の営業強化を進め特色ある商品、製品の拡販に努めました。この結果、売上高は28億7千万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は1億6千3百万円（前年同期比16.9%減）、経常利益は1億7千2百万円（前年同期比15.9%減）、四半期純利益は9千6百万円（前年同期比52.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ジオテック（地盤改良）事業

消費増税によりハウスメーカーの住宅着工数が落ち込む中、当社独自の木質杭を施工材料とする「環境パイル工法」の大手住宅メーカーによる採用実績は引き続き増加し、また、当社開発の地盤改良関連技術や関連する部材等の同業他社への販売にも注力しましたことから業績は堅調に推移しました。売上高は11億4千3百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は2千8百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

木材加工事業

消費増税前の駆け込み需要の反動減から住宅着工が減少する環境下、保存木材の生産、販売数量は前年同期比微増となりました。また、保存処理薬剤の販売は前年同期並に堅調に推移しております。売上高は10億5千1百万円（前年同期比2.6%増）となりましたが、原材料価格高騰の売価への価格転嫁は遅れており、営業利益は5千2百万円（前年同期比11.4%減）に止まりました。

セキュリティ機器事業

消費増税前の駆け込み需要の反動減がありましたが食品業界の導入案件が増加するなど監視カメラの需要は引き続き底堅く、また、増強した人員を各拠点で順次戦力化し、営業および商品サポートの強化に努めました結果、業績は堅調に推移いたしました。売上高は3億8千2百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は8千万円（前年同期比27.0%減）となりました。

石油製品事業

ハイブリッド車の普及に伴うガソリン消費の減少、産油国の政情不安による原油価格の高騰に加え消費増税後の節約志向等、厳しい環境下、ガソリンスタンド店頭でのフルサービスの接客強化を徹底しました結果、燃料油の販売数量は前年同期比微増となり、売上高は2億3千1百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は4百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

その他事業

本年4月の消費増税後、マッチ、雑貨等の需要は伸び悩み受注が減少いたしました。また、遊休地の有効利用を目的とする太陽光発電は、売電のための準備を進めている状況です。その他事業の売上高は6千万円（前年同期比26.5%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は77億3千1百万円であり、前連結会計年度末と比較して1億8百万円減少いたしました。

流動資産は、現金及び預金、商品及び製品等は増加しましたが、受取手形及び売掛金、繰延税金資産の減少等により1億1千6百万円減少いたしました。固定資産は、投資有価証券の増加等により8百万円増加いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少等により2億5千2百万円減少いたしました。固定負債は商品保証引当金の増加等により2千4百万円増加いたしました。

純資産は四半期純利益9千6百万円の計上等により前連結会計年度末から1億1千9百万円増加し、50億6千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859	1,004
受取手形及び売掛金	2,272	1,965
商品及び製品	704	799
仕掛品	0	0
原材料	415	428
繰延税金資産	175	111
その他	99	100
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	4,524	4,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	261	255
機械装置及び運搬具(純額)	281	264
土地	2,200	2,200
リース資産(純額)	23	20
建設仮勘定	24	14
その他(純額)	24	29
有形固定資産合計	2,815	2,786
無形固定資産		
投資その他の資産	19	18
投資有価証券	358	399
その他	138	135
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	480	518
固定資産合計	3,314	3,322
資産合計	7,839	7,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881	1,760
短期借入金	145	76
リース債務	11	11
未払法人税等	59	16
賞与引当金	123	61
その他	206	250
流動負債合計	2,427	2,175
固定負債		
リース債務	17	14
繰延税金負債	44	57
退職給付に係る負債	137	135
商品保証引当金	138	163
資産除去債務	17	18
その他	109	100
固定負債合計	465	489
負債合計	2,893	2,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	372	468
自己株式	△4	△5
株主資本合計	4,839	4,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	130
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益累計額合計	107	130
純資産合計	4,946	5,065
負債純資産合計	7,839	7,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,850	2,870
売上原価	2,243	2,265
売上総利益	607	605
販売費及び一般管理費	410	441
営業利益	197	163
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	3
持分法による投資利益	0	1
受取補償金	8	—
受取賃貸料	1	2
その他	1	3
営業外収益合計	12	9
営業外費用		
支払利息	2	0
賃貸借契約解約違約金	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	4	1
経常利益	205	172
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	220	172
法人税、住民税及び事業税	19	11
法人税等調整額	△0	64
法人税等合計	18	75
少数株主損益調整前四半期純利益	201	96
四半期純利益	201	96

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	23
繰延ヘッジ損益	1	△0
その他の包括利益合計	△39	23
四半期包括利益	161	119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161	119
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,171	1,025	357	213	2,767	82	2,850	—	2,850
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	108	—	10	119	—	119	△119	—
計	1,171	1,133	357	224	2,886	82	2,969	△119	2,850
セグメント利益	20	59	109	4	194	0	194	2	197

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去2百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,143	1,051	382	231	2,810	60	2,870	—	2,870
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	139	—	11	151	—	151	△151	—
計	1,143	1,191	382	243	2,961	60	3,022	△151	2,870
セグメント利益 又は損失(△)	28	52	80	4	166	△4	161	1	163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。